

1. 製品及び会社情報

製品名 : ラッキーボーイ エコサーフ
製品コード :
MSDS 整理番号 : SPS-ADCL-4109
会社名 : 旭化成ケミカルズ株式会社
住所 : 〒101-8101
東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング
担当部門 : 添加剤事業部 機能活性剤営業部
電話番号 : 03-3296-3363
FAX 番号 : 03-3296-3468
緊急連絡先 : 機能活性剤技術開発部
電話番号 (平日・昼間) : 044-271-2639
(休日・夜間) : ①090-1030-7568 ②090-9107-6469
推奨用途及び使用上の制限 : 手洗い用洗浄剤

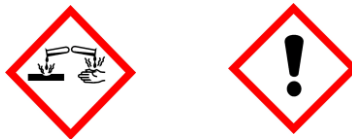
2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分外
上記以外の項目は、分類できないまたは分類対象外である		
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	: 区分4
	急性毒性 (経皮)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	: 分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分1
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性/全身毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性/全身毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない	
環境に対する有害性	水生環境急性毒性	: 区分3
	水生環境慢性毒性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害
重篤な眼の損傷

注意書き : 【安全対策】

飲み込んだ場合、口をすすぎ、気分が悪い時は医師に連絡すること。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。
目に入った場合は、ただちに医師の診断を受けること。
必要な時以外は環境への放出を避けること。

【応急処置】

「4. 応急処置」を参照。

【保管】

「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】

「13. 廃棄上の注意」を参照。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 研磨剤入り洗浄剤

成分	含有量	化学式	官報公示整理番号	CAS NO
水	非公開	H ₂ O	なし	7732-18-5
非イオン系界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非公開
生分解性スクラブ	非公開	非公開	非公開	非公開
水溶性成分	非公開	非公開	非公開	非公開
その他（染料等）	非公開	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流す。使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激等の異常が現れたときは、使用を中止し、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。次に、コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の処置を受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐

き出させる。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならないし吐かせようとしてもいけない。直ちに医師の処置を受ける。

応急措置をする者の保護：特別な保護は必要ない。

5. 火災時の措置

- 消火剤：初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤：特になし
- 火災時の特定危険有害性：引火性はない。
- 特定の消火方法：関係者以外は安全な場所に退去させる。
危険なく実施できる場合は、火元への燃焼源を断つ。消火は風上から行う。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置：多量の場合、人を安全に退避させる。
- 環境に対する注意事項：流出した大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合は、ウェス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策：付近の着火源となるものを取り除くとともに消化剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：使用後は容器のキャップをきちんと閉める。
- 安全取扱い注意事項：手洗い以外に、顔や体には使用しない。
傷、はれもの、湿疹等、異常のあるときは使用しない。

保管

- 保管条件：幼児の手の届かない場所で保管する。
温度の高い場所や直射日光の当たる所に長時間放置しない。
- 容器包装材料：記載すべき情報がありません。
-

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会（2006年版）	: 該当なし
ACGIH（2006年版）	: 該当なし
設備対策	: 特になし
保護具	
呼吸器の保護具	: 通常の取り扱いでは必要なし。
手の保護具	: 通常の手洗いでは必要なし。
目の保護具	: 通常の手洗いでは必要なし。必要に応じてゴーグル等の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 通常の手洗いでは必要なし。
衛生対策	: 特になし

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
色	: 微黄色不透明
臭い	: わずかに臭いがある
pH	: 7.5～8.5
沸点	: 100℃以上
融点	: -5℃
引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	
下限	: なし
上限	: なし
比重	: 0.95～1.0 g/cm ³ (25℃)
溶解性	
水	: 可溶
その他の溶媒	: エタノール等（スクラブ材を除く）
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件では、化学的に安定である。
危険有害反応性	: なし

避けるべき条件	: 長時間にわたり、40℃以上におくと分離することがある。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

1.1. 有害性情報

急性毒性 経口	: (製品データ) 混合物そのものの情報なし。 「区分4」に分類される成分を複数含む。 混合物としての毒性推定計算値は、加算式より ATEmix \cong 1,600 mg/L (>300 mg/L、 \leq 2,000 mg/L) となり 区分4 なお、急性毒性が不明の成分は1wt%未満である。 (成分データ) ラット LD50=200~2,000 mg/L 【参考値】
経皮	: 全ての成分の試験データが無いため、混合物は分類できない。
吸入(蒸気)	: 全ての成分の試験データが無いため、混合物は分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 軽度刺激物(ウサギ 24時間貼付) ^{*1} スコア値(紅班/か皮または浮腫): 1.33 (<2.3) であるため 区分外
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 「区分1」に分類される成分を複数含む、その合計が12wt%以上 (\geq 3%)であるため 区分1
呼吸器感作性	: 「分類できない」成分を1.0wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
皮膚感作性	: 「分類できない」成分を1.0wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
生殖細胞変異原性	: 「分類できない」成分を0.1wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
発がん性	: 「分類できない」成分を0.1wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
生殖毒性	: 「分類できない」成分を0.3wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
特定標的臓器/全身毒性-単回暴露	: 「分類できない」成分を0.1wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
特定標的臓器/全身毒性-反復暴露	: 「分類できない」成分を0.1wt%以上含むため、混合物としては分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: 「分類できない」成分を10wt%以上含むため、混合物としては分類できない。

1 2. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : (製品データ) 混合物そのものの情報なし。
「区分1」、「区分2」、「区分3」に分類される成分を含む。
その中の「区分1」および「区分3」に分類される成分は1wt%未満である。
混合物として毒性推定計算値は加算式より
 $LC50_{mix} \doteq 60$ ($>1\text{mg/L}$, $\leq 10\text{mg/L}$)
となり 区分2
ただし、水生環境急性毒性が不明の成分を1%未満含有する。
(成分データ) 区分2 (含有量は非公開)
 LC_{50} : (藻類、72h) 10~100 mg/L 【参考値】
 EC_{50} : (ミジンコ、48h) 10~100 mg/L 【参考値】
- 水生環境慢性有害性 : 成分の試験データが不十分なため、混合物としては分類できない。
残留性/分解性 : (製品データ) BOD_5 : 5 mg/L 以下 (製品 0.1W/V%水溶液) *1
(成分データ) 生分解性良好
除去率 $\geq 90\%$ ビスマス活性化物質 (mod.OECD 301A)
【参考値】
- 生体蓄積性 : 情報なし
土壌中の移動性 : 情報なし
備考 : (成分データ) は主剤の非イオン系界面活性剤の参考値。

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 漏出時の措置の他、多量の場合は、免許を所持している専門業者へ処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
-

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG（国際海上危険物規則）コード : 該当なし

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)、IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）
: 該当なし

国連分類 : 該当なし

国連番号 : 該当なし

国内規制 : 該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 直射日光を避ける。
高温体との接触を避ける。

15. 適用法令

化管法（PRTR法） : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

海洋汚染防止法 : 非該当

薬事法 : 化粧品

16. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談してください。

また、当社は、MSDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献

1) *1は自社データ

2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghsi.html#download>
